

新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

NEWSLETTER



平成 27 年 4 月

地域において必要な、良質ながん医療の提供

がんセンター新潟病院院長 佐藤信昭



新年度がスタートしました。県立がんセンター新潟病院が少しモデルチェンジしたことをご存じでしょうか。平成 27 年 4 月 1 日より、化学療法病棟（50 床）を廃止し、外来化学療法室の拡充（ベッド数 15 から 30 への増床）や地域連携・相談支援センターの強化など、外来機能のさらなる充実をめざしています。

化学療法病棟（旧西 2 病棟）は平成 11 年 4 月、ベッド規制が掛かっていた時代に特例で認可された病床でした。特例で認可された理由は、がんの化学療法を定着させるためでした。その後、患者さんの生活の質（QOL）の向上を重視し、外来化学療法室を平成 16 年 10 月に開設し、外来化学療法に積極的に取り組んできました。

近年、がん化学療法は、悪心・嘔吐などの副作用を予防する薬剤や、好中球減少症を早期に治療できる薬剤など、支持療法薬が進歩しています。それにより仕事や自宅での生活を継続し、外来通院しながら安全に施行できるようになりました。当院の外来化学療法の件数は年々増加し、平成 25 年度には 8,099 件で、1 日あたり約 33 件行われていました。乳腺外科、消化器外科、血液内科、呼吸器内科の患者さんを中心にほとんどすべての診療科の患者さんが外来化学療法室で治療を受けられました。外来化学療法室にはがん化学療法看護認定看護師 1 名を含む看護師 6 名が配置されており、外来化学療法室の増床後は増員を予定しています。

外来でのがんの治療が必要とされる背景には、多くの患者さんが仕事をしながら治療を受けているという事情もあります。国立がん研究センターがん対策情報センターの推計によれば、働きながらがんの治療をしている方は 32.5 万人（男/女 14.4 万人/18.1 万人）で、女性が男性より多いことも特徴的です。

ところで、がん患者さんは、「病気のことが不安でたまらない」、「病気や治療のことで、わからないことがある」、「医療費や生活費が心配」、「介護保険、身体障害者手帳、障害年金のことなどについて知りたい」、「治療を受けながら、職場や学校でうまくやっていけるだろうか」など、医療、就労、福祉などに関するさまざまな不安や悩みを抱えています。

当院の相談支援センターでは平成 25 年度 12,731 件、平成 26 年度 15,746 件の相談をいただいています。外来化学療法中の患者さんは、入院中とは異なり、医療者に相談しづらいのではないかと思います。そこで、相談支援センターのスタッフを充実させ、入院中のがん患者さんの相談はもちろんのこと、外来通院中の患者さんからの相談にも、さらに力を入れたいと考えています。

これからも、がんを中心とした診療の質を高めながら、地域の皆様と連携を深め、新潟県の医療に貢献したいと思っております。ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



就任のご挨拶

地域連携・相談支援センター長 竹之内辰也



平素より地域の皆様におかれましては当院との医療連携に際して多大なご支援を賜り、病院スタッフ一同、心より厚く御礼申し上げます。この4月より、前任の丸山洋一副院長より引き継ぐ形で地域連携・相談支援センター長を拝命しました。これまで勤めております情報調査部長との兼任となりますが、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

当センターは、前方および後方連携をそれぞれ別組織として担当していた地域医療連携室と相談支援センターを統合し、平成24年4月に発足しました。センターの活動における柱は、地域医療機関との連携の強化、およびがん相談支援機能の充実です。それらはいずれも新潟県がん診療連携拠点病院である当院に課せられた重要な役割であり、特に『地域連携』は当院の生命線とも言えるキーワードです。おかげ様を持ちまして、地域医療機関の皆様からの紹介患者数は年々増加傾向にあり、多い月では1,000件を超えるようになりました。その内の約半数が、FAXによる地域連携予約を介した受診です。事前にFAX予約を頂くことで外来受診時の待ち時間短縮につながりますし、必要に応じて画像やレポート等の資料を予めお預かりしておくことで来院時の診療がよりスムーズになり、患者さんご自身にとってもプラスになろうかと思ひます。予約方法の詳細につきましては当院ホームページ (<http://www.niigata-cc.jp>) をご参照頂き、これからはぜひご活用をお願ひ申し上げます。また、面積が国内第5位という広大な本県においては、長期にわたるがん治療を当院のみで完結することは到底できません。そのためには地元医療機関との密な連携が不可欠であり、当センターでは地域連携クリティカルパスの推進、在宅・転院に向けた退院調整、在宅療養支援などの後方連携業務も担当しています。

地域における病院の機能分化をより厳格化するこれからの医療政策の中で、当院が高度がん医療を提供する基幹病院であり続けるためには、地域医療機関の皆様からのお力添えが必要不可欠です。新潟県におけるシームレスながん医療を実現するための架け橋となるべく、当センターは努力して参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

地域連携・相談支援センターの紹介



新任のご挨拶

医療ソーシャルワーカー 柴田正裕

この度、相談支援センターに専門相談員として着任しました柴田正裕と申します。この3月まで長岡にあります県立精神医療センターで、精神保健福祉士として精神障害の支援をして参りました。がん、緩和ケアとの出会いは、県立加茂病院時代に高齢者の終末期やがん治療、緩和治療に関わらせて頂きました。受容しにくい問題を持つ人たちに心理面への十分な配慮を行い、正しい知識や情報を伝え、主体的に療養生活が営めるように援助する方法としての心理教育・家庭教育ネットワークでのワークショップに参ります。

がん治療・緩和治療からわずか3年間遠ざかっただけなのに、大きく変わってきている事を実感しています。新しい知識や考え方を一日も早く理解し毎日の支援に繋げていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

私たちが退院調整看護師です



平成 27 年度、退院調整看護師業務を新メンバー松澤、波多野、遠藤で担当することとなりました。病棟の業務とは異なり戸惑うことも多い中で、仕事に取り組んでいます。がんセンターの患者様の退院調整においては、今後のことを十分に配慮しながら行っていく必要性を、日々感じています。

在宅療養を支えて頂いている地域医療機関の皆様には、日頃より暖かい対応をしていただき感謝申し上げます。患者様が在宅にスムーズに移行できることにより、患者様だけでなくご家族様の安心にも繋がっていきます。顔の見える連携作りをおこなうことは、患者様が在宅療養をしていく上で重要となります。この事からも地域医療機関の皆様と情報を交換しながら、必要な情報の提供ができるように努めていきたいと考えております。

地域医療機関の皆様から、ご指導とご意見をいただきながら、一つ一つ確実に病院と地域医療機関の皆様との橋渡しが行えるよう努力して参ります。

今年度は、丁寧・正確・迅速をモットーに、笑顔と笑声での対応を行って参ります。ご迷惑をおかけする事もあると思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。



地域連携・相談支援センターメンバー

病診連携からのお知らせ

今年4月より、病診連携担当の職員が異動により新たに4名の職員が配属になりました。医事業務の専門的知識により円滑な対応を行って参ります。

地域の病院・医院の先生方から情報を頂きながら、スムーズな受け入れと、より良い医療・安全の提供に努めて参ります。今後ともご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます



新潟県立がんセンター新潟病院 平成27年5月外来診療予定表

		月	火	水	木	金
内科 <small>(金曜Cは新潟大学より)</small>	401診	D 張 高明	A 成澤 林太郎	D 廣瀬 貴之	D 移植外来(4週)	B 小山 建一
	402診		D 今井 洋介	C 大倉 裕二	D 石黒 卓朗	D 今井 洋介
	501診	C 大倉 裕二	F 谷 長行	F 谷 長行		F 谷 長行
	502診	A 青柳(午前) A 加藤(午後)	E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸	E 大山 泰郎	B 阿部 徹哉
	601診	B 横山 晶	A 栗田 聡(隔週)	B 阿部 徹哉	A 栗田 聡	B 田中 洋史
	602診	A 塩路 和彦	A 船越 和博	A 佐々木 俊哉	A 船越 和博	C 須田 将吉(午前) C 尾崎 和幸(午後)
	201診	B 田中 洋史		B 樋浦 徹		B 庄子 聡
	新患 (2診体制)	A 成澤 林太郎 A 佐々木 俊哉 B 阿部 徹哉 F 谷 長行	A 青柳 智也 B 小山 建一 D 古田 夏恵 D 石黒 卓朗	A 船越 和博 B 田中 洋史 D 今井 洋介 E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸 B 庄子 聡 C 大倉 裕二 D 廣瀬 貴之	A 塩路 和彦 A 栗田 聡 B 樋浦 徹 D 張 高明
*新患は2名の医師が担当します。当日の担当医についてはお問い合わせください。 A:消化器 B:呼吸器 C:循環器 D:血液 E:内分泌 F:糖尿病						
小児科	1診	小川 淳	渡辺 輝浩	細貝 亮介	小川 淳	渡辺 輝浩
	2診				専門外来(11:00~ 2週は移植外来)	細貝 亮介
乳腺外科 消化器外科	1診	佐藤 信昭(乳腺)	藪崎 裕(胃)	土屋 嘉昭(肝胆膵)	中川 悟(食道・胃)	瀧井 康公(大腸)
	2診	金子 耕司(乳腺)	松木 淳(胃)	野村 達也(肝胆膵)	藪崎 裕(胃)	丸山 聡(大腸)
	3診	長谷川 美樹(乳腺)	會澤 雅樹(胃)	神林 智寿子(乳腺)	番場 竹生(食道・胃)	野上 仁(大腸)
	4診	田中 花菜	加納/中村 [交替]	堅田/勝見 [交替]	岡山 幸代	宇宿 真一郎
予防センター-乳腺						
*乳腺外科は原則予約制です。						
呼吸器外科	1診	吉谷 克雄	青木 正	岡田 英	青木 正	吉谷 克雄
	2診		岡田 英			岡田 英
*水曜日は新患の対応はできません。						
整形外科	新患	畠野/村井/有泉 [交替]	畠野 宏史	小林 宏人	有泉 高志	村井 丈寛
	再来	小林 宏人	有泉 高志	村井 丈寛	畠野 宏史	小林 宏人
*完全紹介制です。						
神経内科 <small>(新潟大学より)</small>		河内 泉		二宮 格		石黒 舞乃
脳神経外科	1診					宇塚 岳夫 (2,4週の午後)
	2診	高橋 英明		高橋 英明	高橋 英明	高橋 英明
婦人科	1診	笹川 基	本間 滋	笹川 基	柳瀬 徹	本間 滋
	2診	柳瀬 徹	菊池 朗	菊池 朗	菊池 朗	笹川 基
	3診			本間 滋	本間 滋	
*3診は再診予約のみです。						
皮膚科	1診	高塚 純子	結城 明彦	竹之内 辰也	結城 明彦	高塚 純子
	2診	結城 明彦	竹之内 辰也	結城(1,3,5週) 高塚(2,4週)	高塚 純子	竹之内 辰也
泌尿器科	1診	谷川 俊貴	小林(1週) 斎藤(2週) 山崎(3,4,5週)	斎藤 俊弘	斎藤 俊弘	谷川 俊貴
	2診	小林 和博	ピリーム	小林 和博	山崎 裕幸	ピリーム
*新患は紹介状が必要です。						
眼科		原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭
頭頸部外科	1診	佐藤 雄一郎	植木 雄志		佐藤 雄一郎	佐藤 雄一郎
	2診	正道 隆介	正道 隆介		植木 雄志	正道(1,3週) 植木(2,4週)
放射線治療科	1診	杉田 公	杉田 公	杉田 公	松本 康男	松本 康男
	2診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	杉田 公	杉田 公
	3診	佐藤 啓	佐藤 啓	佐藤 啓	佐藤 啓	佐藤 啓
*木曜日は新患の対応ができない場合があります。						
麻酔科		丸山 洋一、富田 美佐緒(月~金 予約可能)			高田 俊和(火~金 予約可能)	
形成外科				坂村 律生	坂村 律生	
緩和ケア科		齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
歯科口腔外科 <small>(日本歯科大学より)</small>		午前/午後	午前/午後	午前/午後	午前/午後	午前/午後
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						

※ 変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。(電話:025-234-0011)

新潟県立がんセンター新潟病院 地域連携・相談支援センター(地域連携部門)

TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月~金 8:30~17:00

地域連携・相談支援センターを通して予約した場合、原則として予約日当日に行える検査

CT、腹部超音波、MRI、食道・胃・十二指腸内視鏡、PET-CT

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます